

2009年11月20日

防火用途の網無し耐熱強化ガラス新商品「マイボーカ®」を発売開始

AGC旭硝子株式会社

AGC（旭硝子株式会社、本社：東京、社長：石村和彦）は、関係会社AGCグラスプロダクツ株式会社（本社：東京、社長：足立敏一）を通じて、主として防火用途で 사용되는網無し耐熱強化ガラスの新商品「マイボーカ®」を2009年12月1日より発売開始することとしました。なおこの商品はAGCグラスプロダクツ株式会社 小山第二工場（栃木県小山市：今回新設）並びに同社鹿島工場（茨城県神栖市）で生産します。

建築基準法においては外壁の延焼のおそれのある部分に開口部を設ける場合、「防火設備」の設置が義務づけられており、「防火設備」には主に網入り板ガラスや網無し耐熱強化ガラスが使用されます。なかでも網入り板ガラスは加工性等が評価され、防火設備に使用されるガラスの90%以上を占めています。

一方で網入り板ガラスには①網が視界を遮るためガラスの特長であるクリアな視界が確保できない、②網に発生する錆などが原因で熱割れ現象*を起こしやすい、などの欠点があります。

当社では熱割れがなく、またクリアな視界を確保することができる網無し耐熱強化ガラスの普及を促進することがお客様満足度向上につながるとの考えから、今般新たな製造設備を導入し、新商品「マイボーカ®」の発売を開始することとしました。

「マイボーカ®」の特長は以下の通りです；

- ① クリアな視界を確保
- ② 網入りガラスの欠点である熱割れと無縁
- ③ 網入りガラスに比べて約25%重量が軽いため、窓の開閉が容易
(網入りガラス6.8ミリとマイボーカ5ミリとの比較)
- ④ 特殊強化処理によって高い強度を実現

* 「熱割れ現象」とは

ガラスが太陽日射を吸収して温度上昇を起こすことにより生じる熱応力が、ガラス自身の持つ「許容応力」を超えると割れてしまう自然現象です。網入りガラスにおいては、この熱割れがひび割れ状に発生するケースが比較的多く見られます。

当社は今後も様々な新商品開発を通じ、ガラスの高機能化による居住環境の向上と地球環境への貢献を目指します。

以 上

◎ 本件に関するお問い合わせ先：**AGC**旭硝子（株）広報・IR室長 上田 敏裕
（担当：小田 TEL：03-3218-5260 E-mail：info-pr@agc.co.jp）

◎ 商品に関するお問い合わせ先：**AGC**ガラスカンパニーカスタマーセンター
（ナビダイヤルTEL 0570-001-555）

【参考資料】

AGCガラスプロダクツ株式会社の概要

所在地： 千代田区三崎町2-9-18
代表者： 足立 敏一
事業内容： 建築用加工ガラスの製造・販売
従業員数： 749名（2009年9月末現在）
資本構成： AGC（旭硝子）100%

「マイボーク」の主なガラス構成と材料参考価格

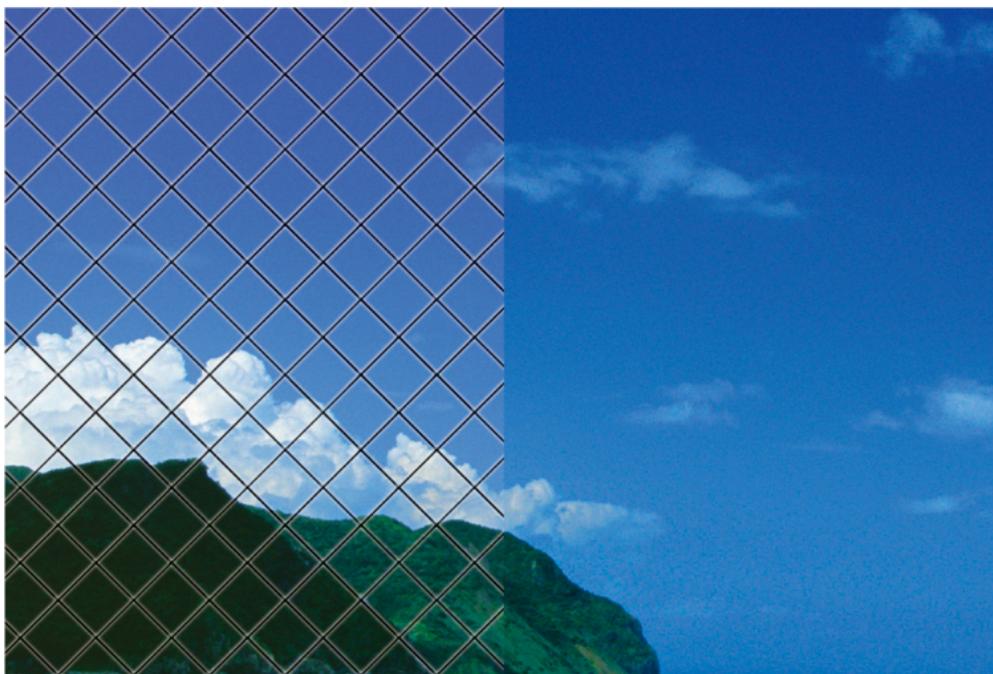
ガラス構成	参考材料価格（税込） （¥/㎡）
マイボーク5 ^{ミリ}	25,900円
（網入りガラス6.8 ^{ミリ} ）	23,100円

「マイボーク」と網入りガラスの重量比較

ガラス構成	窓1枚のガラス重量 （幅91cm*高さ203cm）
マイボーク5 ^{ミリ}	23.1kg
（網入りガラス6.8 ^{ミリ} ）	31.4kg
マイボーク5 ^{ミリ} +空気層12 ^{ミリ} +フロート3 ^{ミリ}	37.0kg
（網入りガラス6.8 ^{ミリ} +空気層12 ^{ミリ} +フロート3 ^{ミリ} ）	45.3kg

網入りガラスと「マイポーカ」の視界比較

(注： 下記はイメージ図です)



「網入りガラス」

「マイポーカ」

以 上